

### 1. かわいそうな学校教育目標

あなたの学校の教育目標を言ってくださいと問われて即答できる人は、これまでの経験からすると、なかなかいないようである。

「確か、  
といた内容のはずです。」

と答えるのはいい方で、ことばの断片すらも口に出てこないことすらあるというのが実態である。

あるいは、今まで勤めた学校の教育目標で、記憶に残っている目標があるか自問自答してみたらどうだろう。いくつ出てくるか？

私について言えば、学校教育目標をはっきり記憶しているのは、任用になった学校のものである。5級僻地の分校に、本校の校長先生が訪ねてきて、「開拓精神」という目標の短冊を置いていかれたことが印象深く思い出される。その後の学校の目標は、ほとんど記憶していないことを白状しなくてはならない。

こういうことからして、思うに、多くの教師たちは自分の学校の教育目標はさておいて、仕事を別の原理で進めているのではないだろうか。学校教育目標は、かわいそうな存在なのではないか。

学校では、たくさんの目標が提示される。学校教育目標、研究主題、学年目標、学級目標、各分掌の目標、生徒会目標（スローガン）、児童会目標、児童生徒による学級目標、最近では人事評価にとまなう個人目標というものもある。日常の教育活動の中に常にすべての目標を念頭に置くことは無理としても、せめて学校教育目標ぐらひはみんなで大切にしてやりたいと考える。

大事にする方法としては、もちろん、多くの目標を学校教育目標を中心に据えた関連目標群にウエビングするという理想のやり方もあるだろうが、知に働けば『過度』がたつにならないように気を付けなければならない。まずは、共通の目標として学校教育目標の語句がみんなの口に上ってくる状態にはしたい。

### 2. 学校教育目標

#### (1) さまざまな学校教育目標

学校教育目標をどのように位置づけ、学校経営の中に活かしていくかということは、簡単ではないと思うようになってきた。校長としていくつかの学校に勤務し、自分がそれを提案もしくは提唱する経験を積み重ねる中で、その思いは次第に強くなってきている。

いったい、学校教育目標とは何なのか？実は簡単ではない。

インターネットの検索サイトで「学校教育目標 役割」と入力してみると、様々なタイプの目標が登場する。

たとえば、横浜市立飯島中学校はきわめて説明的である。散文的と言っていいかもしれない。

まず、前文とでも言ったら良さそうな文がある。

「人間尊重という立場に立って、お互いの信頼関係を樹立し、21世紀を担う国際的な人間としての資質を培い、健康・学習・生活を人間形成の基本とし、これからの教育に求められる『ゆとり』・『活力』・『魅力』ある学校を目指すため、次のように本校の基本目標を設定した。」

そして

- (1) お互いの生き方を認め合い、思いやりをもった豊かな心をはぐくみます。
- (2) 自ら課題を見つけ、判断し、解決する力を高めます。
- (3) 社会の一員としての役割を自覚し、共に生きようとする姿勢を大切にします。

とある。

いわば、憲章タイプの学校教育目標と言えはいいであろうか。

また、あまりにもたくさんのことが書かれていて、いったい学校教育目標はどれなんだといったものもある。次に紹介するのは、隣接県の、本校と同じぐらいの規模の、ある小学校の目標である。

まず、学校のキャッチフレーズがある。

「行きたい学校 帰りたい家庭（いえ）住みたい地域（まち）THE 学校」

そして『本校の教育目標』として

基本目標：「心豊かに ずんずん進め やる気でがんばる 学校 子」

校 是：「元気に 本気で 根気よく」

学校教育目標：「進んで学習する子 進んで働く 身も心も強い子 進んで助け合う子」とやっとなってくる。いったい、この学校の教育目標はほんとはどれなの？と言いたくなる。

私の推理として言えるのは、代々の校長先生が置きみやげをしていった校訓や学校教育目標が、地層のように積み重なっているのだろうということである。

はばたけ秋田っ子ネットで小・中学校の学校番号のそれぞれ1番の学校を調べてみると、

秋田市立保戸野小学校「心ひろびろ のぞみを胸に ~自立と共生~」

秋田市立秋田東中学校「温かい人間関係を大切にし、良い生き方を創る」

とある。保戸野小は、やや感覚的というべきか。心ひろびろ、のぞみを胸にしているのはおそらく、子どもたちであり、そのような子ども像を追求していこうと教職員や父母に呼びかけているのであろうか？また、秋田東中のそれは、生徒たちの目標というよりは、教職員の取り組みの重点を示しているように見える。

いったい、学校教育目標はだれを対象にしているのだろうか？広くは、学校を構成する人たち全てであろう。すなわち 教職員 児童生徒 保護者 地域社会 その他の学校に関わりを持つ人々である。多くの関係者に目標が意識されればされるほど、その学校の進むべき方向へ参加する流れは太さを増し、協同の行動が生まれてくるのであろう。しかしとりあえずは、具現化したい子ども像を掲げ、それに向かって取り組む=教職員の目標なのではないだろうか。

いずれにしても、多くは、その学校の取り組みの方向や理想とする子ども像をコンパクトに表現した標語、もしくはキャッチフレーズにとらえていいのではないだろうか。したがって、学校教育目標それ自体だけでは説明不足である。多くの場合、学校教育目標についての解説があり、『学校像』『教師像』『子ども像』、本年度の重点などによって学校経営方針の総体が示されている。構造図を提示していることも多い。



↑ 中学校の目標構造図から

私も『子ども像』と『経営の基本的な姿勢』、『今年度の重点』およびその解説を付け加えている。

### 3. 私はどのようにして学校教育目標を提示したか

転勤が決まって、発表の日に、岩見三内小学校を初めて訪れた。3月をもって退職される武

田洋子前校長から、学校の概要について説明をしていただき、児童、職員、保護者、地域の様子をお聞きした。

実は、4月1日までの約1週間は、新しい校長にとっていわば勝負のときである。何しろすぐに第1回目の職員会議が予定されており、そこで「施政方針」を発表しなければならないからである。「施政方針」のポイントとなるのが『学校教育目標』である。その学校の歴史と現状を踏まえ、自分の教育観をそこににじませながら新しい目標を提示しなければならない。たとえ前年度のものを踏襲するにしても、自分なりの理解と意味づけがなければ単なる借り物、借家住まいになってしまう。

したがって、荒いつかみ方になるにせよ、前任校長や職員から取材した。また、学校要覧を見るなどして、学校経営方針、とりわけ学校教育目標の過去10年の変遷を知ることができた。

平成16年度の目標は「こころひらき、ゆめつむぎ、ひとみかがやく子どもの育成」、平成13～15年度「こころひらき、ゆめつむぎ、ひとみはつらつとした子どもの育成」、平成12年度「こころひらき、ゆめつむぎ、ひとみかがやく子どもの育成」、平成9～11年「こころをひらき、ゆめをつむぎ、生きる力をはぐくむ」、平成7～8年度「強く、正しく、美しく生きる子ども」である。

そして、校長室に掲げてある佐々木理式氏の書を見ると、『童心を一層大事にし麗しい夢を育てる』とある。

こうしてみると『こころひらき』『ゆめつむぎ』は本校にとって最も重要なキーワードであったことがわかる。ついで『ひとみかがやく』もしくは『ひとみはつらつ』という、心をひらき、夢つむいでいる子どもたちであれば、おのずと表出するであろう意欲に満ちた表情が示されている。このうちの前の2つを、私が前から掲げたいと考えていた『未来に向かう子供』あるいは『未来に向かって』と組み合わせ、サブテーマという装いで書き表してみることにした。

## 未来に向かう子供 ～心ひらき、夢つむいで～

それがこのロゴマークとでもいうべきものである。

### 4. 学校教育目標を活かすために

学校教育目標を日々の学校生活の中に活かすためには、まずは、学校教育目標を知ってもらい、意識してもらうことが前提となる。そこで、そのために次のような手だてをとった。

毎月の職員会議では、校長からのレジメに必ず、目標のロゴと経営の基本的姿勢、および今年の重点を載せて、月に一度は職員間で再確認できるようにした。

学校要覧を保護者に配布し、学校教育目標を中心とする学校経営の基本方針を理解してもらうための手だてとした。

P T A会報こだまに、学校教育目標について解説する文を書いた。

1月25日 職員会議に  
校長 小笠原 幹朗

未来に向かう子供 ～心ひらき、夢つむいで～  
かしこく やさしく たくましく

経営の基本的姿勢  
(1)児童の実態から出発した経営  
(2)組織として働く学校  
(3)確かな学力を育てる学習指導  
(4)体験活動を重視した生き方指導  
(5)人間的なふれあいを基盤とした生徒指導  
(6)保護者や地域とともに生きる、開かれた学校

今年の重点

みんなが学び合う学校  
子ども 教職員 保護者 それぞれの学び

①確かな学力を育てるための学習指導の工夫  
②たくましく生きる心と体を鍛える  
③学校を開く 参観から参加へ



校報や学年便り，保健便りに必ず目標のロゴを掲載してもらった。職員のみならず，保護者にも目標を自然に意識してもらうことをねらっている。

学校懇談員の会や保護者アンケートの際に必ず，学校教育目標の説明を入れて理解が進むように努めた。

最後に，この研究報告の文という形で，職員のみなさんに意識してもらおうとしている。

（参考：秋田市内の小学校の学校教育目標一覧）

はばたけ秋田子ネットで調べることができた秋田市内小学校34校の学校教育目標

- 1 保戸野小学校 「心ひろびろ のぞみを胸に ～自立と共生～」
- 2 明德小学校 「強く，正しく，明るい」子どもの育成
- 4 旭北小学校 世界に目を向け，共に学び共に生きる子供の育成
- 8 川尻小学校 「豊かな心 確かな知 強い体」
- 10 土崎小学校 「人間性豊かに たくましく生きる 子供の育成」
- 11 港北小学校 「かかわり合い高め合う子どもの育成」
- 12 土崎南小学校 「心豊かにたくましく，自ら学ぶ子どもの育成」
- 14 広面小学校 「心豊かでたくましく，深く考え行動できる子どもの育成」
- 15 日新小学校 「日々に新たにたくましく生きる！」
- 16 勝平小学校 「自分をつくり ともに生きる」
- 19 外旭川小学校 「確かな形をまとう子供の育成」
- 22 上新城小学校 「かがやけ いのち」
- 23 浜田小学校 「心豊かでたくましく生きる子どもの育成」
- 24 豊岩小学校 「夢・挑戦・感動・・・未来へ」
- 25 仁井田小学校 「のびゆく学校 われらの仁井田  
～仁小の子\* 21世紀を心豊かにたくましく～」
- 27 上北手小学校 「楽しんで学び合い ふれ合い きたえ合う子どもの育成」
- 28 下北手小学校 「輝け！ やなぎっ子 - 21世紀を心豊かに たくましく - 」
- 30 八田小学校 「心豊かで，自ら学び，たくましく生きる子どもの育成」
- 31 金足東小学校 「未来を切り拓く子供の育成」
- 32 金足西小学校 「強く 正しく 豊かしく」
- 33 八橋小学校 「心豊かな たくましい 子供の育成」
- 34 東小学校 「豊かな心をもち，自ら学び，たくましく生きる子どもの育成」
- 35 泉小学校 「ふるさとに根ざす心豊かでたくましい泉の子の育成」
- 36 大住小学校 「人の喜びや痛みに共感できる子どもの育成」
- 37 桜小学校 「個性豊かでたくましい実践力のある子どもの育成」
- 38 飯島南小学校 「夢をもち，人に優しく，きらきら輝く子供の育成」
- 39 寺内小学校 「心ゆたかでたくましい子どもの育成  
～生きる力の育成・自立型の子供の育成～」
- 41 岩見三内小学校 「未来に向かう子供～心ひらき，夢つむいで～」

- 42 赤平小学校 「かしこく ゆたかに たくましく」  
44 戸島小学校 「ゆたかに かしこく たくましく」  
45 川添小学校 「思いやりの心と健康な体を持ち、  
自ら考え、進んで表現できる子供の育成」  
46 種平小学校 「< たかく すこやかに > 夢に向かって歩む子」  
47 戸米川小学校 「心豊かで、たくましく、活力にみちた子どもの育成」  
48 大正寺小学校 「心豊かで創造性に満ち、たくましく生きる子どもの育成」